

## I 令和3年1月大雪の概況

<b>気象・被害状況</b> 嶺北地方を中心に「平成30年2月豪雪」に匹敵する大雪を記録 ・福井市では2日間で約100cm、大野市では3日間で約140cmの降雪を記録 ・北陸自動車:金津IC～福井IC付近 約1,600台の車両滞留、最大66時間20分通行止め ・国道8号:あわら市～福井市最大約15.5kmの渋滞、あわら市～坂井市最大24時間50分通行止め ・中部縦貫自動車道:41台の車両滞留、最大95時間通行止め ・JRが最大約1日、地域鉄道が最大約4日、バスが最大約3日間運休 ・小中学校、高校等の計238校が休校(延べ716校、最長5日間) ・人的被害:死亡6名(関連死含む)、重軽傷91名 物的被害:住家80棟、農業用ハウス425棟	<b>災害対策の概要</b> <b>県災害対策本部の設置</b> ・1月10日に災害対策本部を設置。9日間で計11回対策本部会議を開催し、除雪による道路の早期開通や県民への情報提供を徹底するなど県民生活への影響を最小限にするための対応を実施 <b>県民生活の確保</b> ・1月6日から関係機関への注意喚起や、報道機関に対し大雪への備えを呼びかけ(不要不急の外出やマイカー利用を控えること、休暇取得やテレワークの実施等) ・自衛隊(滞留車両の救出、燃料・物資の配布)、警察(スタック車両の支援、交通規制)、消防(救急車の乗車人員増による救急活動)による住民の安全確保 ・広域支援の受入れや道路関係者相互の除雪協力を行い、生活道路を早期に除雪
---	--

## II 今後の対応・強化策

<b>【道路除雪】</b> [北陸自動車道、国道8号、中部縦貫自動車道] 短期間の集中的な大雪時には、「道路をできるだけ通行止めにしたくない」等の従来の考え方から、「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する」との考え方への国の方針転換を踏まえ、大規模な車両滞留を徹底的に回避する対策に加え、県内の社会経済活動等への影響を最小限にとどめるための取組を進める  <広域応援等による除雪体制の強化> ○道路管理者間の相互応援により除雪車等の除雪体制を強化 <広域迂回等による流入車両の抑制> ◎関西、中京を含めた範囲に、出控えや広域迂回等を繰り返し呼びかけ <広範囲での計画的・予防的通行止め> ◎タイムライン(行動計画)を策定し、訓練を実施 ◎社会経済活動の影響を最小化するため、一車線の先行除雪、優先除雪路線の早期開放等により道路ネットワーク機能を早期に回復 ◎梯団除雪隊の直後に緊急車両や許可を得た燃料輸送車等を追尾させることにより、最低限必要な物流の途絶を回避 ◎広範囲の通行止めを実施する際には、国土交通省が主体となり、関係機関の幹部が参加する会議を設置・開催し、調整	<b>【公共交通機関】</b> [JR] ○降雪予報エリアの細分化 ○積雪深計や監視カメラの増設 ◎踏切通行時の注意や自家用車利用自粛呼びかけ  [福井鉄道、えちぜん鉄道] ○道路管理者による踏切や軌道部分の除雪 ◎えちぜん鉄道ロータリー除雪車を新型車両に更新 ◎福井鉄道所有の軌陸両用除雪車を共同利用するなど、福井鉄道とえちぜん鉄道相互の協力体制構築 ◎踏切、ホーム除雪の応急対応が可能な委託業者の拡充 ◎ボランティア等によるホームや踏切の除雪体制強化  [バス] ○除雪状況に応じたルート変更など柔軟な運行を実施 ○市町や沿線自治会等と協力したバス停付近の除雪 ◎運行状況をSNSできめ細かく情報提供	<b>【救出・救助】</b> [県、関係機関] ◎道路管理者が事前に資機材・支援物資を配備、その情報を共有 ◎SNSを活用し、滞留車両ドライバー等のニーズを収集  [警察] ○交通状況を把握するカメラ増設、情報共有 ◎県猟友会との協定に基づくスノーモービルの活用 ◎悪路対応のためSUV車両の確保 ◎隣接府県警への広域交通規制等の協力依頼  【地域活動】 ○災害救助法の適用範囲拡大(個人の屋根雪おろし委員会等)を国に要請
<b>【情報収集・広報】</b> ○防災アプリ、SNSなどを活用し、降雪期前のチェーンやスコップ、牽引ロープ・フック等の携行を呼びかけ ○ヘリ・ドローンを活用し、幹線道路等の状況を把握 ◎災害対策本部を設置した市町にプッシュ式で県職員をリエゾンとして派遣し、連携を強化 ○県防災ネットを活用し、報道、SNS、防災アプリに不要不急の外出抑制、休暇取得・テレワーク実施、道路情報等を発信 ◎除雪・屋根雪下ろしの安全確保をマニュアル・動画等で周知	<b>【燃料】</b> ○マイカーの燃料満タン呼びかけ(約2週間分の余裕) ○各給油所に在庫増呼びかけ(約4日分の余裕) ○前日からの泊まり込みなどによる燃料輸送車の運転手確保 ◎燃料輸送車に対し、通行可能なルート情報を提供 ◎道路管理者や県警に、燃料輸送車の先導や優先通行を依頼	<b>【医療・福祉、産業(企業、農業)】</b> ○医療機関や民間企業等のBCP策定、見直し ◎在宅医療の介護サービス事業者等の駐車場確保のためチェーン店に協力依頼 ◎商工団体がいつでも会員に情報伝達できるようSNSによる情報伝達体制を整備 ◎農業ハウスの被害内容を分析し、より雪に強いハウス整備を促進
<b>【学校、公共施設】</b> ○集中除雪に伴う一斉休校・休館、保護者・利用者への周知	<b>凡例:</b> ○平成30年2月豪雪を踏まえた対応 ◎令和3年1月大雪を踏まえた今後の強化策	